

桜美林大学の学生に、まちだ福祉〇ごとサポートセンターのPRカードをデザインしていただきました！

市は、4月1日に5ヶ所目となるまちだ福祉〇ごとサポートセンターを町田地域に開設します。これをもって市内全ての地域で設置が完了することに合わせ、同センターのPRカードを市内にある桜美林大学の学生に新たにデザインしていただきました。

同センターのこれまでのデザインのPRカードは、堺、鶴川、忠生、南地域のミニストップ、セブン-イレブン・ジャパンにご協力いただき、各店舗で配架しています。今後は、新しいデザインに順次切り替えるとともに、町田地域でも同様に配架を開始します。

■PRカード作成の目的

ひきこもり状態の方をはじめとした、地域で困難を抱える若年層を中心とした方にまちだ福祉〇ごとサポートセンターを知っていただくツールとするため、若者の視点で、目にとまりやすく、実際に手にとっていただけるようデザインしていただきました。また作成にあたっては、ひきこもり当事者の支援団体であるNPO法人「ゆどうふ」様にご意見を伺いました。

デザインは3名の学生の方に12種類作成していただき、その中から4種類に決定いたしました。デザインは裏面に記載しています。

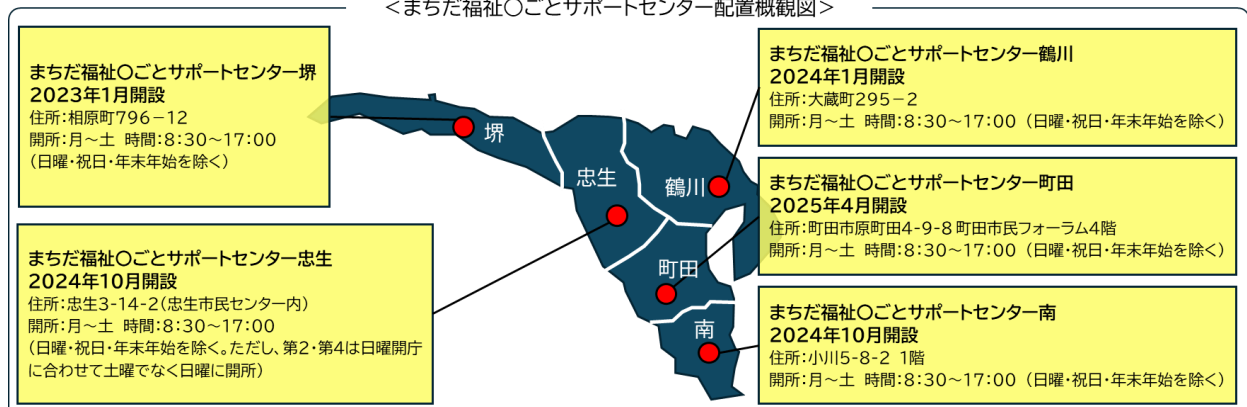
■PRカードの配架

市内のミニストップやセブン-イレブン・ジャパンにご協力いただき、レジ横など目につきやすい場所に順次配架していただきます。今後は、スーパーなどにも配架を働きかけていきます。

■【参考】まちだ福祉〇ごとサポートセンター

「8050問題」や「ダブルケア」、「ヤングケアラー」など、複雑化・複合化した福祉の困りごとを抱えている方の早期支援につなげるために設置しています。当センターでは、地域福祉コーディネーターが相談者に寄り添いながら、関係機関・支援機関ともに、解決に向けた必要なサポートを行います。なお、運営は業務委託先である町田市社会福祉協議会が行っています。

<まちだ福祉〇ごとサポートセンター配置概観図>



■ PR カードのデザイン

以下がデザインとその作者によるコンセプトと説明です（センター名はいずれも町田地域）。裏面はデザイン例です。

【表面】

＜デザイン1＞



- ◆コンセプト：うさぎが飛び出すぞ！
- ◆説明：〇ごとの「〇」と家から飛び出すイメージで作成。手にとりやすくするために、やわらかい雰囲気となるよう、全体的に暖色にし、かわいらしいうさぎを使用した。

＜デザイン2＞



- ◆コンセプト：行こう
- ◆説明：外に出られない人に向けたメッセージが目立ちすぎずに語りかけられるように工夫した。「行こう」の文字と背景は空を表し、外で見える景色の美しさを感じてもらえるように鮮やかな色とした。

＜デザイン3＞



- ◆コンセプト：施設名のロゴ化
- ◆説明：見た目のインパクトを重視するとともに、「福祉」の文字を大きく強調することで、福祉のサポートを必要とする方へダイレクトに伝わるようにした。

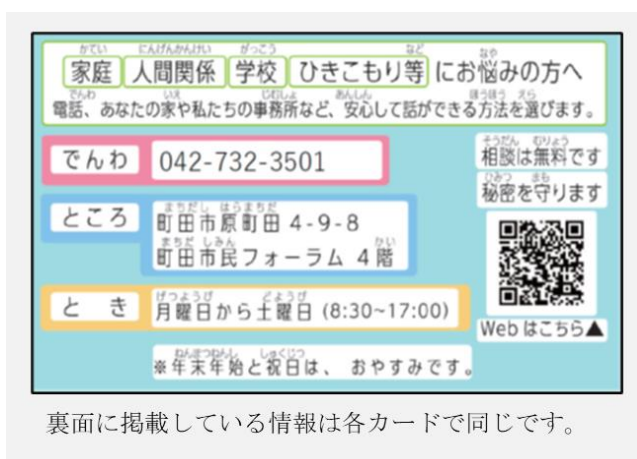
＜デザイン4＞



- ◆コンセプト：小さなハート、大きなハート
- ◆説明：カラフルなハートは支援を必要としているひとりひとりの心情や悩みを表しており、大きなハートにすることで、この施設が生み出す大きな愛情を表現した。

※印字されたセンター名は、配架地域ごとに変更します。

【裏面】



裏面に掲載している情報は各カードで同じです。